

「知床国立公園の保護と利用についての意見交換会」の開催結果

1. 目的

「知床国立公園知床半島中央部地区利用適正化実施計画」に基づき、平成20年度に関係機関が協力して実施した各種の対策及び平成21年度に実施しようとする対策について、地元在住の方々に説明し、それらの事項をはじめ、国立公園の保護と利用のあり方について意見交換を行い、今後の取組みの参考とするもの。

2. 開催日時・場所

ウトロ：日時：平成21年2月19日（木） 15:30～17:30

場所：ウトロ漁村センター

羅臼：日時：平成21年2月20日（金） 13:00～15:00

場所：羅臼町公民館

3. 主催

環境省釧路自然環境事務所

4. 参加者

ウトロ：約30名

羅臼：13名

出席関係機関

ウトロ：環境省（釧路自然環境事務所、ウトロ自然保護官事務所）、斜里町、北海道網走支庁、斜里町ほか

羅臼：環境省（釧路自然環境事務所、羅臼自然保護官事務所）、斜里町、北海道根室支庁、羅臼町ほか

5. 議事

- (1) 利用適正化検討会議について
- (2) 平成20年度利用適正化実施計画の実施状況
及び平成21年度利用適正化実施計画（素案）について
- (3) 知床世界遺産センター及びフィールドハウスについて
- (4) 意見交換

平成20年度 知床国立公園の保護と利用についての意見交換会 意見概要			
意見		開催地	対応
知床五湖地域に関して			
	現在行われている冬季の利用について、ガイド利用だけでなく、個人の利用もできるようにしてほしい。	斜里	個人を対象とした利用の可能性についても検討・調整を進める。
羅臼湖地域に関して			
	管理行為として行われている、歩道周辺の枝の伐採での切り口で怪我がおきている。伐採の際には注意してほしい。	羅臼	これまでも注意して実施してきたが、注意を徹底していきたい。
	羅臼湖歩道の参加型維持管理活動は、土日実施したほうが、ボランティアが集まりやすい。	羅臼	管理活動の計画の際に留意する。
	現状だと、羅臼湖を利用させたいのか、させたくないのか大きな方針が分からない。環境省・北海道の方向付けが必要。	羅臼	羅臼湖の利用のあり方について、地域の関係者の意見を聞きながら検討を進める。
	羅臼側から羅臼湖へのバスの利便性が悪いので、改善してほしい。	羅臼	
	羅臼湖入口付近に、車の転回場所・駐車帯を設けてほしい。	羅臼	
	将来的な要望になるが、入り口に管理棟を設置することを検討してほしい。ガイドが交代でボランティアで管理するという事も考えられる。	羅臼	
	携帯トイレのブース又はトイレを羅臼湖歩道の入口に設置してはどうか。	羅臼	
	羅臼湖歩道入口の駐車禁止看板とトラロープは景観上好ましくない。	羅臼	
知床連山地域に関して			
	道路の工事に伴い、硫黄山登山口が利用できない状態について、改善してほしい。	斜里	関係行政機関による検討・調整を継続する。
	知床連山の携帯トイレブースの設置を進めてほしい。	羅臼	設置後の維持管理体制の問題などもあり、関係行政機関で対応策について検討を進める。
全般に関して			
	利用を規制するのではなく、自己責任での利用を認めてほしい。	斜里・羅臼	昨今の判例等を踏まえても、単純に自己責任であれば危険な場所でも利用できることにはならないが、自己責任での国立公園の利用について、法令や他の地域の状況について整理を行っていききたい。
	様々な会議でガイドの利用を中心に議論が行われている。地元の人間の利用についても配慮してほしい。	斜里	地域住民が自然を楽しむ機会を損なうことのないよう個々の取組みにおいてできるだけ配慮する。
	ガイドツアーが行われている場所を、把握しておくべき。	斜里	ガイド協議会等の協力を得て、情報の収集に努める。